

第5章 海外の動向について

海外における障害のある子どもの教育に関する情報提供の取組について

渡邊 章
(教育研修情報部)

I はじめに

本稿では、米国、欧州、アジアにおける障害のある子どもの教育に関する情報提供の取組について概観することとする。なお、本稿においては、欧州では、欧州委員会 (EC) 及び英国の取組について、アジアでは、韓国及び中国の取組について触れることとする。

II 米国における情報提供について

米国教育省 (U. S. Department of Education) の Web サイトⁱ⁾ では、障害のある子どもの教育に関する活発な情報提供が行われている。

このサイトでは、「生徒向け」「教員向け」「保護者向け」「行政官向け」のページが設けられている。そして、それぞれの利用者向けに情報の提供が行われている。

障害のある子どもの教育に関する情報については、このサイトの「Office of Special Education and Rehabilitative Services (OSER)」^{j)} のページや Office of Special Education Program (OSEP) のページ^{k)} により提供されている。これらのページでは、障害のある子どもの教育に関する法律である IDEA (Individuals with Disabilities Education Act) に関する情報などが提供されている。

また、米国教育省のサイト内には「Institute of Education Sciences (IES)」^{l)} のページがある。この IES は、2002 年の Education Sciences Reform Act によって設置されたものであり、この IES の中の「National Center for Special Education Research (NCSR)」^{m)} は、障害のある子どもの教育に関する研究を担うセンターである。この NCSR は、IES の 4 つのセンターのうちのひとつであり (他のセンターは、「National Center for Education Evaluation and Regional Assistance (NCEE)」, 「National Center for Education Research (NCER)」, 「National Center for Education Statistics (NCES)」), 2004 年 12 月に設置が認められたものである。

今後、これらのセンターのページにおいても、障害のある子どもの教育に関する情報提供が行われていくことと思われる。

III ヨーロッパにおける情報提供について

1. EC (欧州委員会) 関連のサイト

EC (欧州委員会) 関連のサイトでは、欧州における障害のある子どもの教育に関する情報提供を行っている。

そのひとつに、EURYDICE のサイト^{b)} がある。

これは、欧州委員会の活動の一部であり、1995 年からは、「ソクラテスプログラム」の一環として行われている。「ソクラテスプログラム」は、ヨーロッパ諸国間の教育の交流を促進するための取組である。

EURYDICE では、欧州各国の教育についての情報を提供している EURYBASE というデータベースを持っている^{c)}。このデータベースにおいて、各国の教育についての情報は、EC のそれぞれの国が提供している。これらの情報は、情報を提供している国の言語と英語の両方で提供されている。

各国の教育に関する情報は、次のような共通の項立てによって提供されている。

- 政治・経済的背景
- 教育システム及び教育行政の概要
- 学齢前の教育
- 初等教育
- 中等教育
- 高等教育
- 生涯教育
- 教員及び教育スタッフ
- 教育システムの評価
- 特殊教育
- 欧州諸国間交流

この EURYBASE により、欧州各国の障害のある子どもの教育に関する取組の概要について、情報を得ることができる。

障害のある子どもの教育に関する情報については、国によって情報量は異なっているが、欧州各国の取組に関する貴重な資料となっている。

2. 英国

英国教育技能省のサイト^{a)} には、SEN (Special Educational Needs) のページがあり^{b)}、SEN に関するさまざまな情報提供が行われている。

例えば、英国内の各地域における SEN の取組について

のページにアクセスできる。

また、保護者・養育者のためのページや教師・専門家・学習アシスタントのためのページなど、それぞれの利用者に向けたページを持っている。

さらに、さまざまなガイドブック等の PDF ファイルが閲覧できるようになっている。

IV アジアにおける情報提供について

1. 韓国

韓国特殊教育院 (KISE) のサイト^{e)} では、学習教材や教員研修に関する事など、障害のある子どもの教育に関する豊富な情報の提供が行われている。

最近の韓国の障害のある子どもの教育に関する情報提供体制については、第 23 回アジア太平洋特殊教育セミナーにおいて、An 氏が報告を行っている¹⁾。この報告によれば、以下のような機関・組織が、情報提供体制において重要な役割を果たしているということである。

- ・韓国特殊教育院 Korea Institute for Special Education (KISE)
- ・韓国教育学術情報院 Korea Education and Research Information Resource Service (KERIS)^{f)}
- ・韓国特殊教育連合会 Korean Association for Special Education (KASE)^{g)}

また、同報告によれば、KISE では、以下のような取組を行っているということである¹⁾。

- ・遠隔教育システムの構築と運用
- ・Web サイトの運営
- ・マルチメディア教材の開発
- ・情報化フェスティバルの開催

これらの取組を通じて、KISE では、障害のある子どもの教育に関する分野における情報化の推進を行っている。

2. 中国

中国における障害のある子どもの教育に関する情報提供については、第 23 回アジア太平洋特殊教育セミナーにおいて、Chen 氏が報告している²⁾。

この報告によれば、特別なニーズ (special needs) のための Web リソースセンター「China Online for the Special Needs (COSN)」^{h)} が、その中心的な役割を果たしているということである。

このサイトでは、中国の各省 (各地域) における障害のある子どもの教育に関する情報や、国内外のさまざまな関連トピックスについての情報が提供されている。

V おわりに

本稿で概観したいずれの国々においても、障害のある子どもの教育の充実に資する情報提供に関して特色ある取組が行われている。欧州では、欧州委員会を中心に、各国の障害のある子どもの教育に関する情報を共同で提供し合う取組を行っており、欧州各国間の共通理解を図る上で有効であると考えられる。また、アジアでは、本稿で概観した韓国、中国においては、障害のある子どもの教育における情報化の推進に活発に取り組んでいる。障害のある子どもの教育に関する国際的な相互理解を行っていく上で、Web サイトによる情報提供は有効な手段であり、今後は Web サイトを通じての情報提供という側面についても、各国の関係機関間の連携が重要であると考えられる。

参考文献

- 1) An, Soo-kyoung: Special Education Informationalization in Korea. Final Report of the 23rd Asia-Pacific International Seminar on Special Education, 85-87, NISE, 2003.
- 2) Chen, Yunying: Online Resource Center in Supporting Inclusive Education. Final Report of the 23rd Asia-Pacific International Seminar on Special Education, 31-35, NISE, 2003.

参考サイト

- a) 英国教育技能省のサイト (Department of Education and Skills) (<http://www.dfes.gov.uk/index.shtml>)
- b) 英国教育技能省の SEN のサイト (<http://www.teachernet.gov.uk/wholeschool/sen/?section=2406&CFID=11620950&CFTOKEN=2dc7693-34cac3cf-f506-4973-9635-3be30e1acba4>)
- c) EURYDICE のサイト (http://www.eurydice.org/accueil_menu/en/frame_set_menu.html)
- d) EURYBASE のサイト (http://www.eurydice.org/Eurybase/frameset_eurybase.html)
- e) 韓国特殊教育院 (Korea Institute of Special Education : KISE) のサイト (<http://www.kise.go.kr/english.html>)
- f) 韓国教育学術情報院 (Korea Education and Research Information Resource Service : KERIS) のサイト (<http://www.keris.or.kr/main/index.jsp>)
- g) 韓国特殊教育連合会 (Korean Association for Special Education : KASE) のサイト (<http://kase.co.kr/>)

- h) China Online for the Special Needs (COSN) のサイト
ト (<http://www.specialneeds.org.cn>)
- i) 米国教育省 (U. S. Department of Education) のサイト
ト (<http://www.ed.gov/index.jhtml>)
- j) 米国教育省の「Office of Special Education and Rehabilitative Services (OSER)」のサイト
(<http://www.ed.gov/about/offices/list/osers/index.html?src=oc>)
- k) 米国教育省の「Office of Special Education and Rehabilitative Services (OSER)」のサイト
(<http://www.ed.gov/about/offices/list/osers/osep/index.html>)
- l) 米国教育省の「Institute of Education Sciences (IES)」のサイト
(<http://www.ed.gov/about/offices/list/ies/index.html?src=oc>)
- m) 米国教育省の「National Center for Special Education Research (NCSR)」のサイト
(<http://www.ed.gov/about/offices/list/ies/ncser/index.html>)

